

〔シアントラニプロール・イソチアニル粒剤〕 農林水産省登録 第23570号
 性 状：類白色細粒
 毒 性：普通物
 危険物：—
 有効年限：5 年
 包 装：1kg×12袋、3kg×6袋、12kg×1袋

スタウト® パディート® 箱粒剤

有効成分：シアントラニプロール …… 0.75% イソチアニル …… 2.0%



パディート®は米国デュポン社の登録商標です。
 「住友化学農業ガイド」の見方：i-農カサイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。
 本剤の最新情報：こちらのQRコードを読み取るとi-農カサイトに掲載されている本剤の最新情報をご覧いただけます。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	1kg/10a	移植時	本 剤：1回 シアントラニプロール ：1回 イソチアニル：3回 (#2)	側条施用
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ フタオビコヤガ ニカメイチュウ ツマグロヨコバイ イネツトムシ コブノメイガ イナゴ類 穂枯れ (ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 イネヒメハモグリバエ ヒメトビウンカ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当たり50g	は種前	本 剤：1回 シアントラニプロール ：1回 イソチアニル：3回 (#1)	育苗箱の床土または覆土に均一に混和する
			は種時 (覆土前) ～移植当日		育苗箱の上から均一に散布する
	は種前		育苗箱の床土または覆土に均一に混和する		
	は種時 (覆土前)		育苗箱の上から均一に散布する		

#1：移植時までの処理は1回、本田では2回
 #2：直播ではは種時又は移植時までの処理は1回、本田では2回



効果・薬害等の注意

- 本剤を床土または覆土に混和する場合、処理後速やかに使用する。また本剤を処理した床土または覆土を放置しない。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植する。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用する。
- ヒメトビウンカに対しては残効性に注意する。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出しないように注意する。
- いぐさ栽培予定水田では使用しない。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しない。

(2020年7月15日現在の内容) 住友化学の農業支援サイト:i 農力<https://www.i-nouryoku.com/>

- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布する。
また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさける。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意

- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

〔品目特性〕

- いもち病と主要な水稻害虫に優れた効果を発揮します。
- は種前から移植当日まで、幅広い使用時期です。
- イネに対して安全性が高いです。